

期末レポートについて

テーマ：この授業で扱った問題に関する書籍または論文を読み、その内容を要約し、あなたの考えを書いてください

文字数：2000字以上

書式：A4用紙に横書き両面印刷

提出日：最終回の授業内に提出

中国の文化Ⅲ

日中文化交流史

第十四回 二分論



Q

この写真は、原爆が投下された長崎で撮影されたものである。写真の中の少年は何をしているのか？

長崎の原爆少年

〔解説〕

この写真を撮影したのは、米海兵隊の従軍カメラマン、ジョー・オダネルである。

一九四五年九月、佐世保に上陸した彼は、従軍カメラマンとして記録写真を撮る一方、私用カメラで広島、長崎の原爆の惨状を撮影した。

彼は後年、この少年を撮影した時のようすを著書の中でこう回想している。



Joseph Roger O'Donnell (1922-2007)

長崎の原爆少年

「焼き場に一〇歳くらいの少年がやってきた。小さな体はやせ細り、ぼろぼろの服を着てはだしだった。少年の背中には二歳にもならない幼い男の子がくくりつけられていた」

ジョー・オグネル『トランクの中の日本』

(小学館、一九九五年)



長崎の原爆少年

「少年は焼き場のふちまで進むとそこで立ち止まる。係員は背中の幼児を下ろし、足元の燃えさかる火の上に乗せた。……少年は気を付けの姿勢で、じっと前を見つづけた。一度も焼かれる弟に目を落とすことはない。軍人も顔負けの見事な直立不動の姿勢で彼は弟を見送った」

ジョー・オグネル『トランクの中の日本』

（小学館、一九九五年）





教皇フランシスコ

カトリック教会のフランシスコ教皇は、二〇一八年末、教会関係者にこの少年の写真をカードにして配布した。

教皇はこの写真に「戦争の結果」というメッセージと自身のサインを添えた。



アジア・太平洋戦争では、日本だけで計三一〇万人もの兵士や市民が犠牲となった。

一方、一九三一年から四五年までの十四年余り続いた日中戦争では、その数を遥かに上回る中国の兵士や市民が犠牲となった。

一九七一年、朝日新聞社の本多勝一記者は中国を訪ね、戦場となった中国の被害者の実情を日本に伝えた。



中国の旅

本多勝一『中国の旅』（1972年）

南京事件で家族を奪われた少年

〔解説〕

一九七一年、日中国交正常化を前に中国を訪れた朝日新聞社の本多勝一記者は、日中戦争の被害者から多くの証言を集めた。

その一人、南京攻略戦の中で家族を失った姜根福さんの証言を本多記者は次のように紹介している。



姜根福さん(2003年12月12日撮影)



南京攻略戦 1937年

近附京南

0 1 2 K.M

1 渣平碼頭
口 怡和碼頭
8 招商碼頭
二 三北碼頭
木 太古碼頭
大阪碼頭

中華民國の首都 南京城

11	行政院國民政府	12	交通兵
10	軍政部參謀本部	13	財政部
9	教育部	14	兵部
8	中央大學	15	金部
7	陸地測量總局	16	道部
6	工商部	17	立政
5	外交部	18	郵政局
4	米國領事館	19	南京特別市市政府
3	三十三標區址	20	地方方法院
2	兵工署	21	古物保存所
1	海軍司令部	22	中央軍官學校





中華西門前のクリークを渡る日本軍(1937年12月13日)

南京事件で家族を奪われた少年

姜根福さんの一家は南京城の北西の城外、長江ぎわの下関地区に住んでいた。

貧乏な一家は家に住むこともできず、サンパンを住居とする水上生活者だった。父母と七人兄弟の九人家族。当時、九歳の姜さんを長男に、三人の弟と三人の姉がいた。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二三八頁）



南京事件で家族を奪われた少年

姜さんの父は、南京周辺を離れてしばらく農村に避難しようと考え、下関の川岸を離れた。

一家八人とわずかな家財をのせたサンパンはあまりにもボロボロだったため、ほんの二〜三キロ南へ進んだあたりで浸水してどうにもならなくなかった。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二三八〜九頁）



南京事件で家族を奪われた少年

サンパンを使えなくなった一家は、
ここで仕方なく土手に上がった。

末子の弟は、まだ一歳余りの赤ん坊だった。空腹のあまり、母乳を求めて大声で泣いた。運悪く一〇人ほどの日本兵の隊列が土手の道を通りかかった。赤ん坊を抱いた母を見つけると、ひきずり出してその場で強姦しようとした。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二三九〜四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

母は末子を抱きしめて抵抗した。
怒った日本兵は、赤ん坊を母親の手
からむしりとると、その面前で地面
に力いっぱいたたきつけた。末子は
声も出ずに即死した。半狂乱になっ
た母親が、わが子を地面から抱き上
げようと腰をかがめた瞬間、日本兵
は母をうしろから撃った。鮮血をほ
とばしらせて、母は死んだ。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

父親と姉二人は息を殺してかくれていたが、日本兵の姿がみえなくなると走り寄ってきた。

血だまりの中に倒れている母と赤ん坊。ひざまずいて母の死体を抱きあげると、父は声をあげて泣いた。恐怖のあまり身動きもできなかった姜少年たちも、このとき初めて、せきを切ったように泣きだした。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

母が殺されてから二〜三日後、また土手の上を通りかかった日本軍の一隊が、こんどは父のかくれている場所に気付いた。強引にひっぱりだした日本兵の一人は、自分の背嚢を父にかつがせて連行した。

これが父の姿の最後だった。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

二日後、やはり通りかかった日本兵の一団が、子供たちに気付いた。アシの中へおりて来た。一三歳の姉が強姦の対象に選ばれた。アシの中の細い畔道を、少女は必死で逃げたが、「鬼子」たちの銃剣にかこまれて苦もなくつかまった。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）

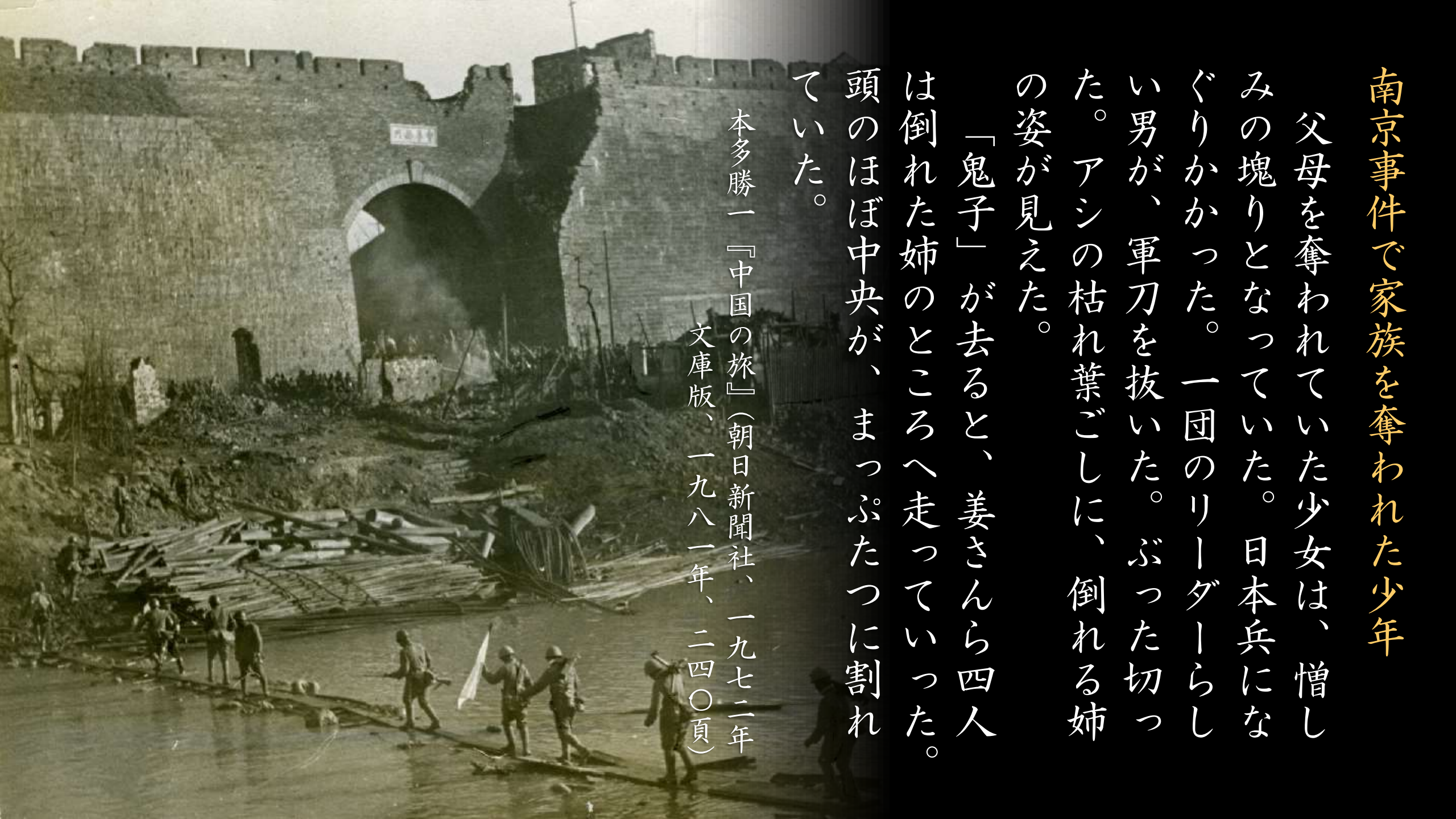


南京事件で家族を奪われた少年

父母を奪われていた少女は、憎しみの塊りとなっていた。日本兵になぐりかかった。一団のリーダーらしい男が、軍刀を抜いた。ぶった切った。アシの枯れ葉ごしに、倒れる姉の姿が見えた。

「鬼子」が去ると、姜さんら四人は倒れた姉のところへ走っていった。頭のほぼ中央が、まっふたつに割れていた。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



一九三七年の満州事変(九・一八事件)から終戦までの十四年に及んだ日中戦争は、戦場となった中国の人々の心に大きな傷を残した。

戦後の東西冷戦の中、日本との早期講和を求めた中国政府は、「二分論」によって国民の理解を求め、七二年の国交正常化を実現する。しかし、この「二分論」に対する日中双方の認識の違いが、やがて両国民の間に新たな対立を生じさせることになる。

今回の講義では、この「二分論」について考えてみたい。



目次

第一章 分断国家

第二章 二分論

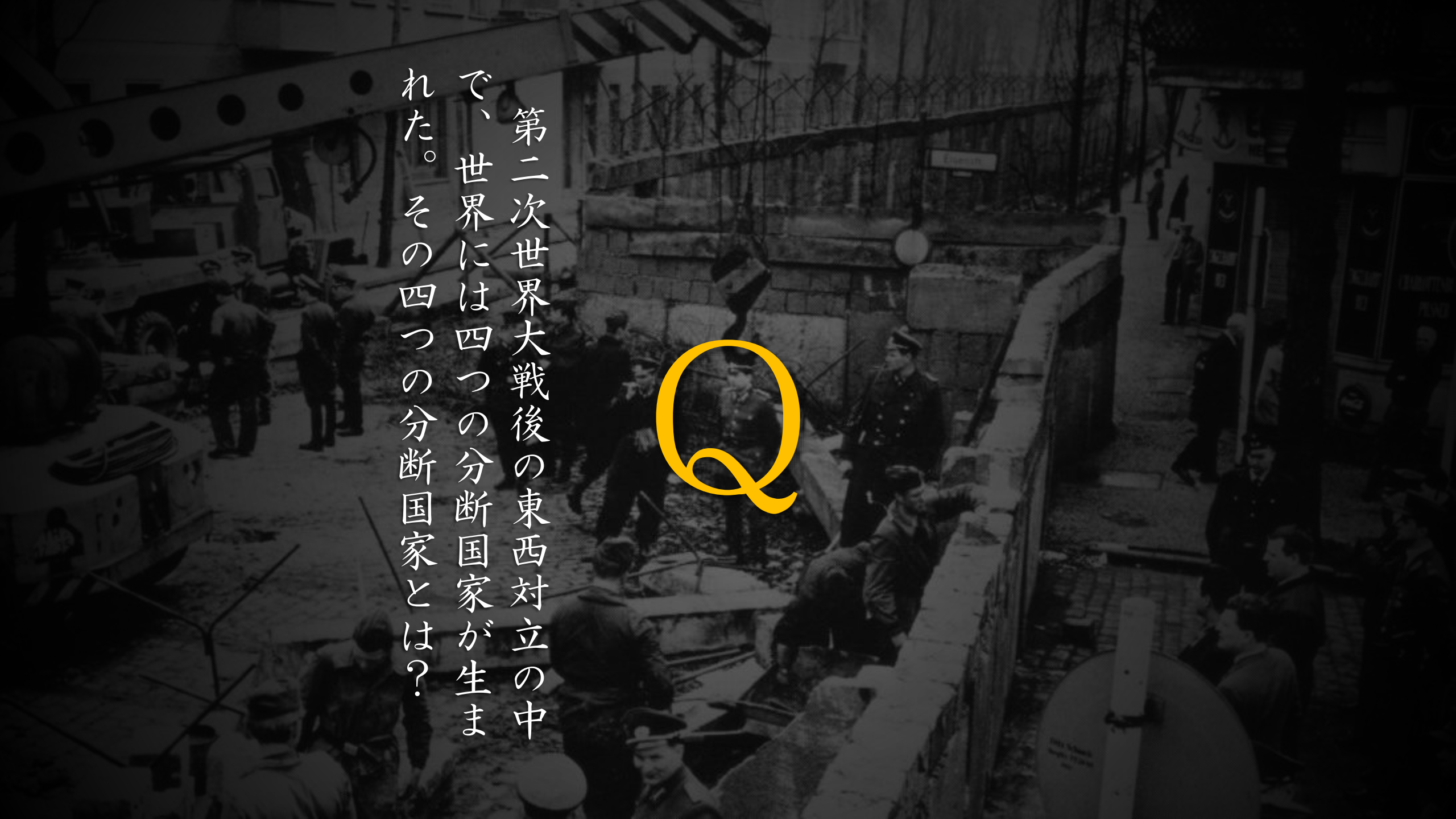
第三章 日中国交正常化交渉

第一章 分断国家



第二次世界大戦後の東西対立の中で、世界には四つの分断国家が生まれた。その四つの分断国家とは？

Q



年、東西ドイツは九〇年に統一したが、日本の旧植民地であった二つの国家はいまも分断状態にある。

- 分断国家とは、
- ①東ドイツと西ドイツ
 - ②北ベトナムと南ベトナム
 - ③北朝鮮と韓国
 - ④中国と台湾

〔解説〕

東西対立の中で生まれた分断国家



近代以降の日中関係

〔解説〕

明治維新によっていち早く近代化を実現した日本は、朝鮮半島への影響力を拡大するため、一八九四年、朝鮮の宗主国であつた清との間で戦争を起こした。（日清戦争）

この戦争に勝利した日本は、最初の植民地となつた台湾を獲得した。





清 1616-1912

明治時代

1868~1912

日清戦争 1894-95

大正時代

1912~1926

中華民国

1912~

昭和時代

1926~1989

中華人民共和国

1949~

平成時代

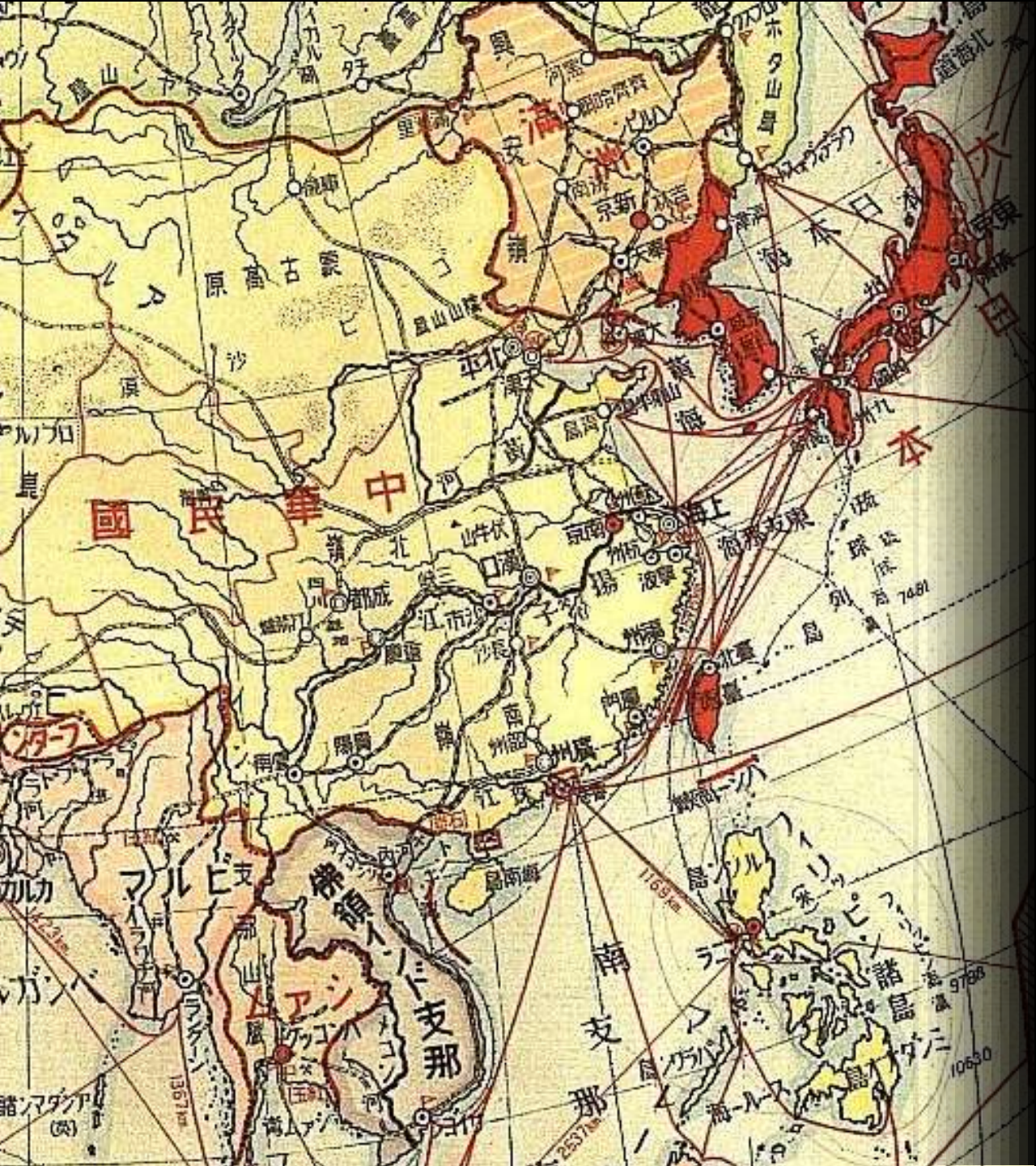
1989~2019

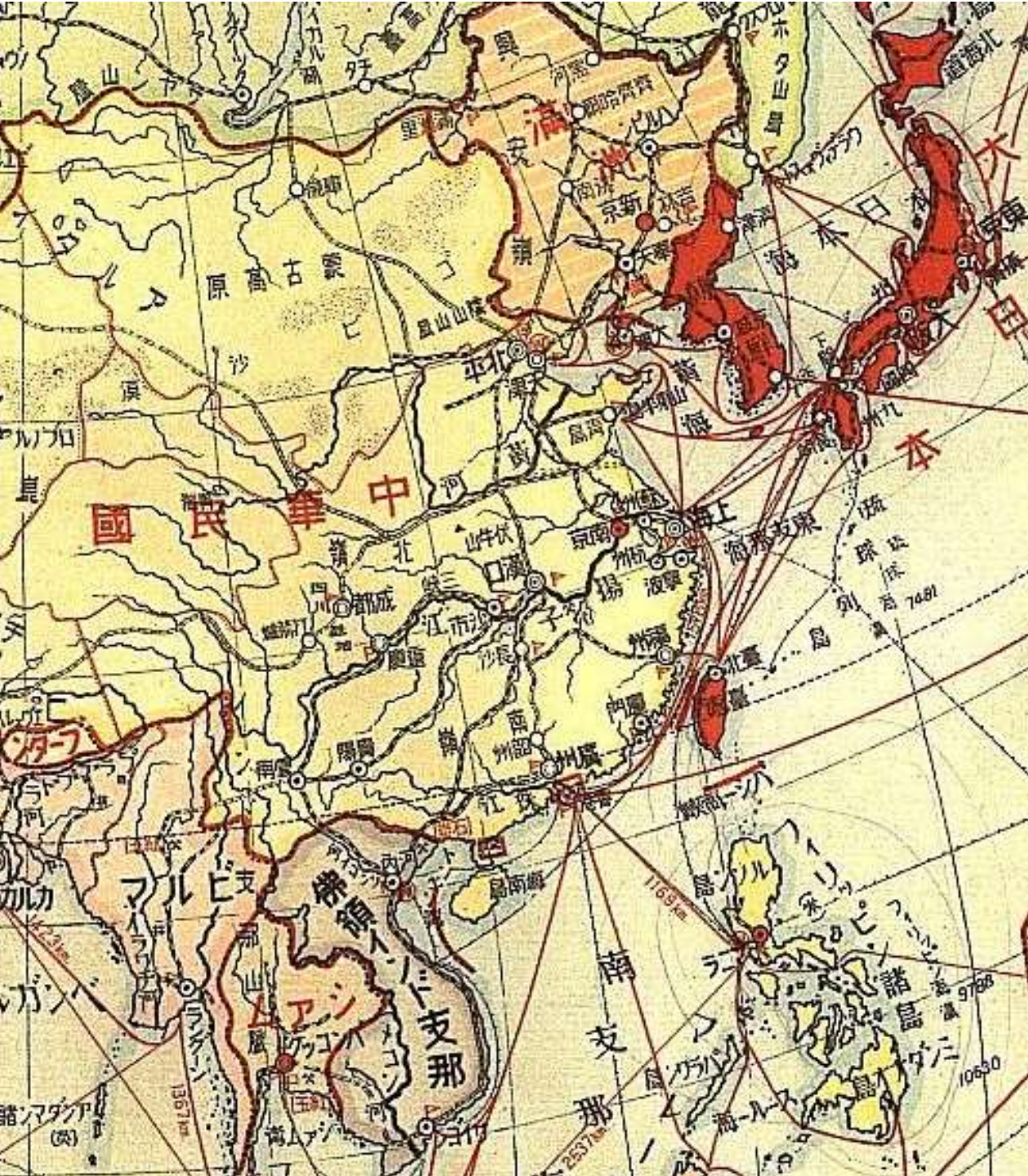
令和時代 2019~

近代以降の日中関係

〔解説〕

一九〇五年、日露戦争の勝利によって朝鮮半島へのロシアの影響力も排除した日本は、一九一〇年、朝鮮半島を植民地化する。さらに一九三一年、満州（中国東北部）への勢力拡大を図る日本軍の現地部隊が起こした謀略事件（満州事件）によって、日中間に十四年余りに及ぶ戦争が起こった。（日中戦争）





清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民國

1912~ 日中戦争 1931-45

昭和時代
1926~1989

中華人民共和國
1949~

平成時代
1989~2019

令和時代 2019~

近代以降の日中関係

〔解説〕

日本が終戦を迎えた後も、中国の戦争が終わることはなかった。終戦からわずか一年後の一九四六年、中国共産党と中国国民党との間で三年におよぶ内戦が勃発した。（国共内戦）

一九四九年、内戦に勝利した共産党は中華人民共和国を建国し、敗れた国民党は台湾に亡命政府を建てた。





70
80
90
1900
10
20
30
40
50
60
70
80
90
2000
10

清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民国
1912~

国共内戦
1946-49

昭和時代
1926~1989

中華人民共和国
1949~

平成時代
1989~2019

令和時代 2019~



一九五二年、日本は中国との講和のため、日華平和条約を結ぶ。このとき条約の締結国となったのは、どちらの政府か？

① 中華人民共和国(北京)

② 中華民国(台湾)



近代以降の日中関係

〔解説〕

一九五〇年六月、北朝鮮の侵攻によって始まった朝鮮戦争は、十一月に中国が参戦したことで、西側（資本主義陣営）の中国との米中戦争に発展した。東側勢力のアジアでの拡大を恐れた米国は、台湾の国民政府に日本との早期講和を求め、五二年、日華平和条約が締結された。





清 1616-1912

明治時代
1868~1912

1900

10

20

30

40

50

60

70

80

90

2000

10

中華民国
1912~

朝鮮戦争
1950-53

日華平和条約

昭和時代
1926~1989

中華人民共和国
1949~

平成時代
1989~2019

令和時代 2019~

戦後の東西対立の中で、アジアには三つの分断国家が生まれたが、この中、東側（社会主義陣営）に属したのはどの三つの国か？

- ① 中華人民共和国
- ② 朝鮮民主主義人民共和国
- ③ ヴェトナム民主共和国





第二章 二分論

中国の対日政策の基本方針Ⅱ二分論

〔解説〕

一九四九年、国共内戦に勝利し、中華人民共和国を建国した中国共産党にとって、残された最大の課題は中国国民党が亡命政府を置く台湾の「解放」であった。

朝鮮戦争の最中、台湾との間で日華平和条約を結んだ日本との国交を樹立するため、中国共産党は対日政策の基本方針を定め、戦争で被害を受けた国民への説得工作を始めた。



中国共産党が日本との国交正常化を実現するため定めた対日政策の基本原則とは？

①日本の戦争責任を明らかにし、被害を受けた国民への賠償を請求する

②戦争責任はごく少数の軍国主義者にあり、多くの日本国民はその犠牲者と考え賠償を放棄する

Q

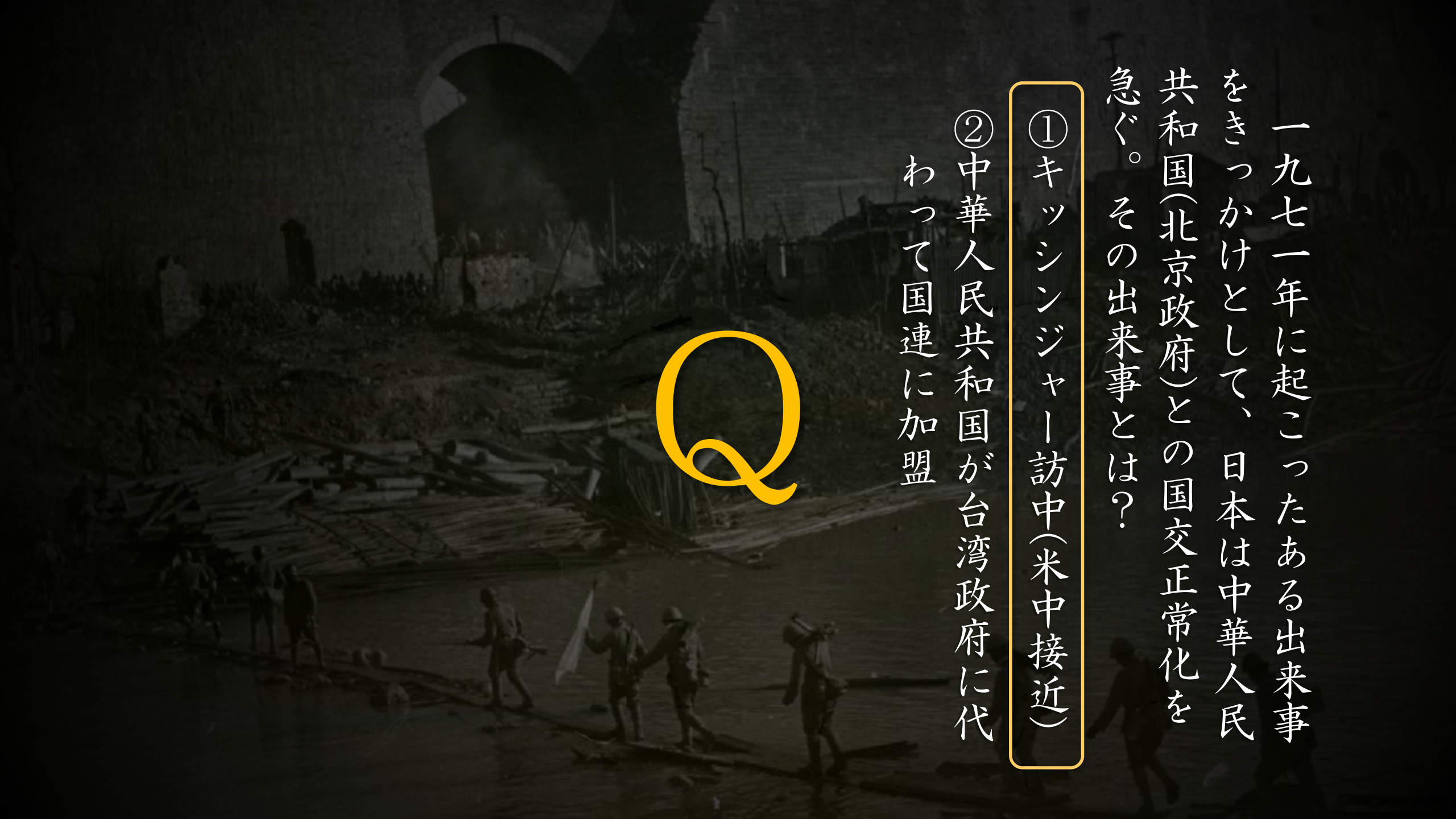




NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

第三章 日中国交正常化交渉





一九七一年に起こったある出来事をきっかけとして、日本は中華人民共和国（北京政府）との国交正常化を急ぐ。その出来事とは？

① キッシンジャー訪中（米中接近）

② 中華人民共和国が台湾政府に代わって国連に加盟

Q

中ソ対立と米中接近

〔解説〕

一九五六年、ソ連のフルシチョフ書記長によるスターリン批判を契機として始まった中ソ対立は、六〇年の経済技術援助協定の破棄、六九年の珍宝島での中ソ国境をめぐる武力衝突への発展する。

ソ連との対立を深める中国に対し、米国は七一年、キッシンジャー補佐官を派遣し、七二年にはニクソン大統領が訪中して米中接近が始まった。





中ソ対立

1956-89

蒙古人民共和国
MONGOLIA
1924 独立
1945 国民政府承認

朝鮮民主主義人民共和国
1948.9

大韓民国
1948.8

中華人民共和国
1949.10 中国共産党政府成立

中華民国
1912~

キッシンジャー訪中 1971

ビルマ共和国
BURMA
1948.1

ベトナム戦争

1964-75

ベトナム共和国
VIET NAM
1950.2
1955.10 共和国成立

カンボディア王国
KAMPUCHIA
1949

フィリピン共和国
PHILIPPINES
1946.7

70
80
90
1900
10
20
30
40
50
60
70
80
90
2000
10

清 1616-1912

明治時代
1868~1912

中華民国
1912~

大正時代
1912~1926

中華人民共和国
1949~

昭和時代
1926~1989

平成時代
1989~2019

令和時代 2019~



NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)



田中角栄（一九一八～九三）

〔解説〕

一九一八年（大正七年）、新潟県に生まれる。

三六年、中央工学校土木科を夜学で卒業。

三九年、応召し、満州国で陸軍に入隊。

四一年、病気により帰国。

戦後、政界に入り、七二年、自民党総裁選に当選、五四歳で第六代内閣総理大臣となる。



日中国交正常化の大前提

「（私も）満ソ国境へ一兵隊として行って勤務したことがあります。

：：日中国交正常化の第一番目に、たいへん御迷惑をかけました、心からおわびをしますという気持ち、やはりこれが大前提になければならないという気持ちは、いまも将来も変わらないと思います」

衆議院予算委員会での質問に答えて

『第六八回国会衆議院予算委員会第四分科会
議事録第四号』（一九七二年三月二三日）

Q

田中角栄は、一九七二年九月二五日、国交正常化交渉のため、中国を訪問する。ところが、晩餐会のスピーチでの一言が、中国側の思わぬ反発を招く。その一言とは次の中のどれ？





「過去数十年にわたって、日中関係は遺憾ながら不幸な経過を辿って参りました。この間、我が国が中国国民に多大のご迷惑をおかけしたことについて、私は改めて深い反省の念を表明するものであります。」

田中角栄首相、歓迎晩餐会でのスピーチ

(一九七二年九月二五日)





NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

Q

なぜ田中首相の「迷惑」という言葉は、中国側の反発を招いたのか？



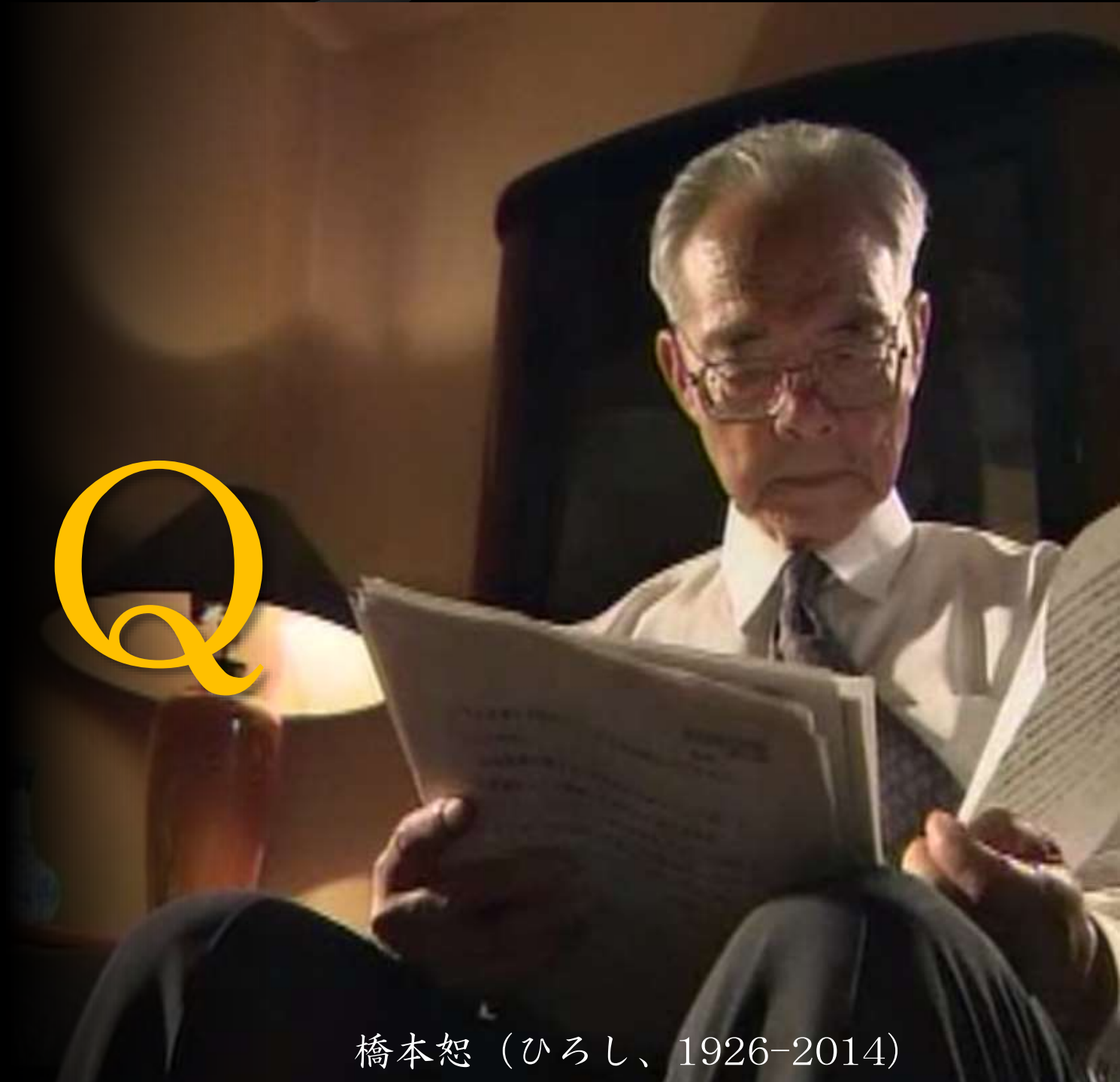


NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

あなたは外務省の中国課長で
あった橋本恕氏の意見について
どう思いますか？

Q

橋本恕（ひろし、1926-2014）





不適切な訳が惹き起したトラブル

〔解説〕

この問題は日本語の「迷惑」という原文にあったのではなく、外務省が通訳した中国語の訳文にあった。

日本語原文

「中国国民に多大のご迷惑をおかけした」

中国語訳文

「给中国人民添了很多麻烦」

田中角栄首相、歓迎晩餐会でのスピーチ

（一九七二年九月二五日）

橋本恕（ひろし、1926-2014）

不適切な訳が惹き起こしたトラブル
「忠実に（通訳）するのが我々の役
目で、むしろ日本語にない謝り方を
することのほうが大変な誤訳：：け
れど常識的に考えて、これがこのま
ま正常化の最終的な文書に行き着く
表現になるとは思いませんよね」

田中首相のスピーチを通訳した小原育夫氏の言葉

服部龍二『日中国交正常化』

（中公新書二〇一一年一四三頁）



小原育夫

不適切な訳が惹き起こしたトラブル
「日本語の『迷惑』を用いることについて橋本が精魂を傾けた事情は理解できることだ。だがここで問われているのは、日本語の原文そのものではなく、それをどのように訳したかなのだ……」

矢吹晋『日中の風穴未来に向かう日中関係』
(勉誠出版二〇〇四年五四頁)



矢吹晋(1938-)

不適切な訳が惹き起こしたトラブル

「……橋本がもし日本語原文の推敲に費やしたエネルギーの一割でも、中国語訳文の推敲に費やしていたならば、歴史的誤解は避け得たのだ。この意味では中国語を解しない中国課長の限界というほかない」

矢吹晋『日中の風穴未来に向かう日中関係』

(勉強出版二〇〇四年五四頁)

橋本恕 (ひろし、1926-2014)

あなたが首相だったら、この後、
中国とどのように交渉を進めます
か？

Q





不適切な訳が引き起こしたトラブル

「ご迷惑をかけたという言葉は、そんな軽々しい内容のものではない。ご迷惑をかけたという日本語の意味は、あなたが解釈しているような、ごめんなさいという程度のもではない。わたしは、わたしの誠心誠意を込めて、申し訳ないという心情をそのまま表現した……」

田中角栄「日中の課題は『信義』と両国民の『自由な往来』だ―いま初めて明かす日中国交回復の秘話」
(宝石第一二巻第一一号、一九八四年)



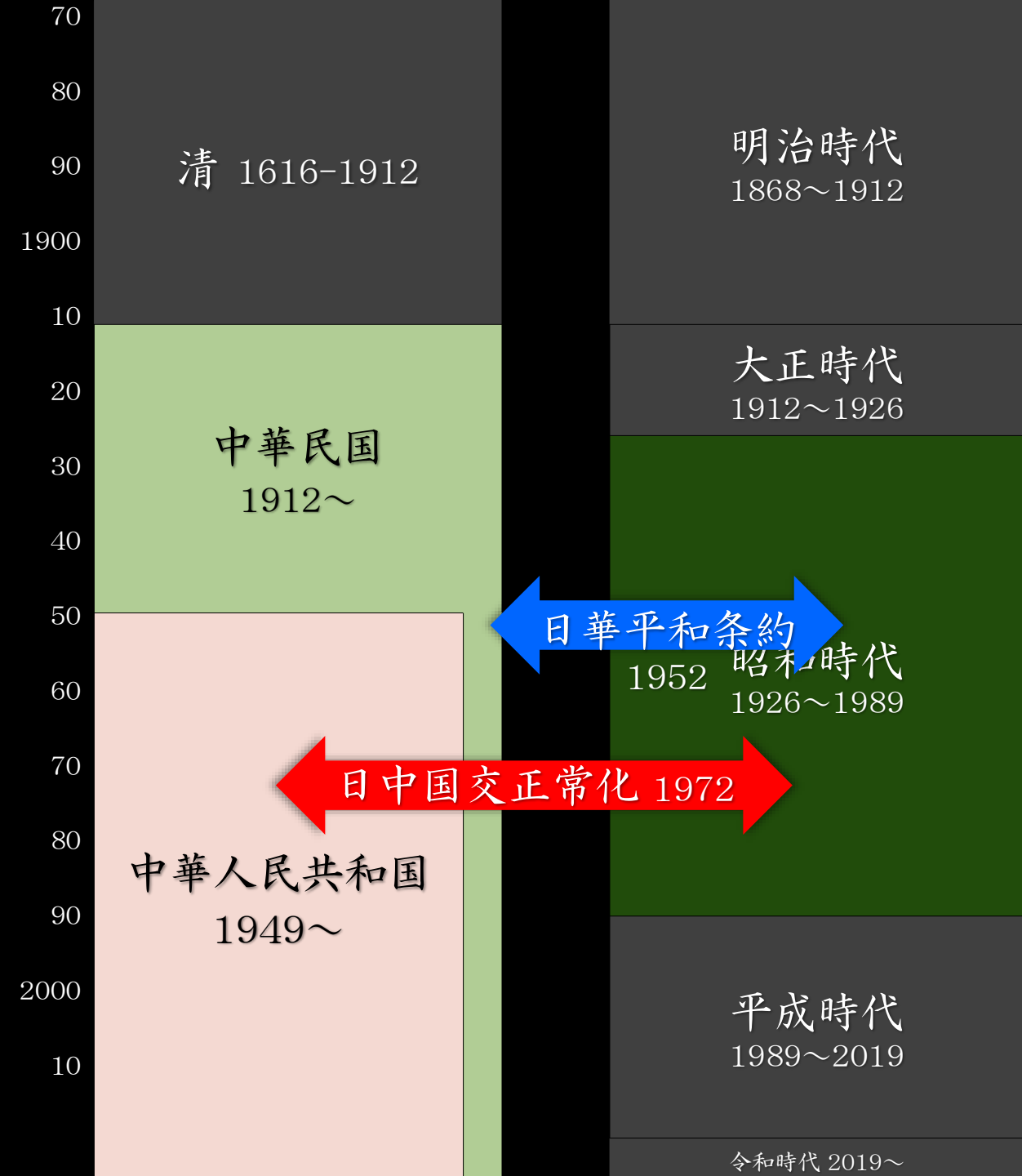
不適切な訳が引き起こしたトラブル

「……すると、周総理はウーソンと低くうなっていたが、それ以上の要求は一切しなかった……『わかりました。言葉尻をとってあげつらうのはやめにします。言葉尻ではなくもつと重要な問題があるのだから……』と話を切り替えてきた。」

田中角栄「日中の課題は『信義』と両国民の『自由な往来』だ――いま初めて明かす日中国交回復の秘話」（宝石第一二巻第一一号、一九八四年）



NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)より



日中国交正常化は、賠償請求権を放棄するなど、日本側に大きく譲歩したものだ。中国側は戦争で被害を受けた国民の理解を得るために、どのような対策を講じたのか？

Q





NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

「二分論」による国交正常化

〔解説〕

日中国交正常化を実現するため、中国政府はこの「二分論」によって、戦争被害を受けた国民の説得に当たった。

前述の姜根福さんも、一九七一年、本多勝一記者の取材に答えてこう述べている。



姜根福さん(2003年12月12日撮影)

「二分論」による国交正常化

「中国で犯した日本の罪悪は、軍国主義の罪悪であって、日本人民の罪ではありません。私たちがこうして過去の体験をあなたにお話したのは、日本人民に対する中国人民の友誼のあらわれでもあるのです」

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二六二頁）



姜根福さん(2003年12月12日撮影)

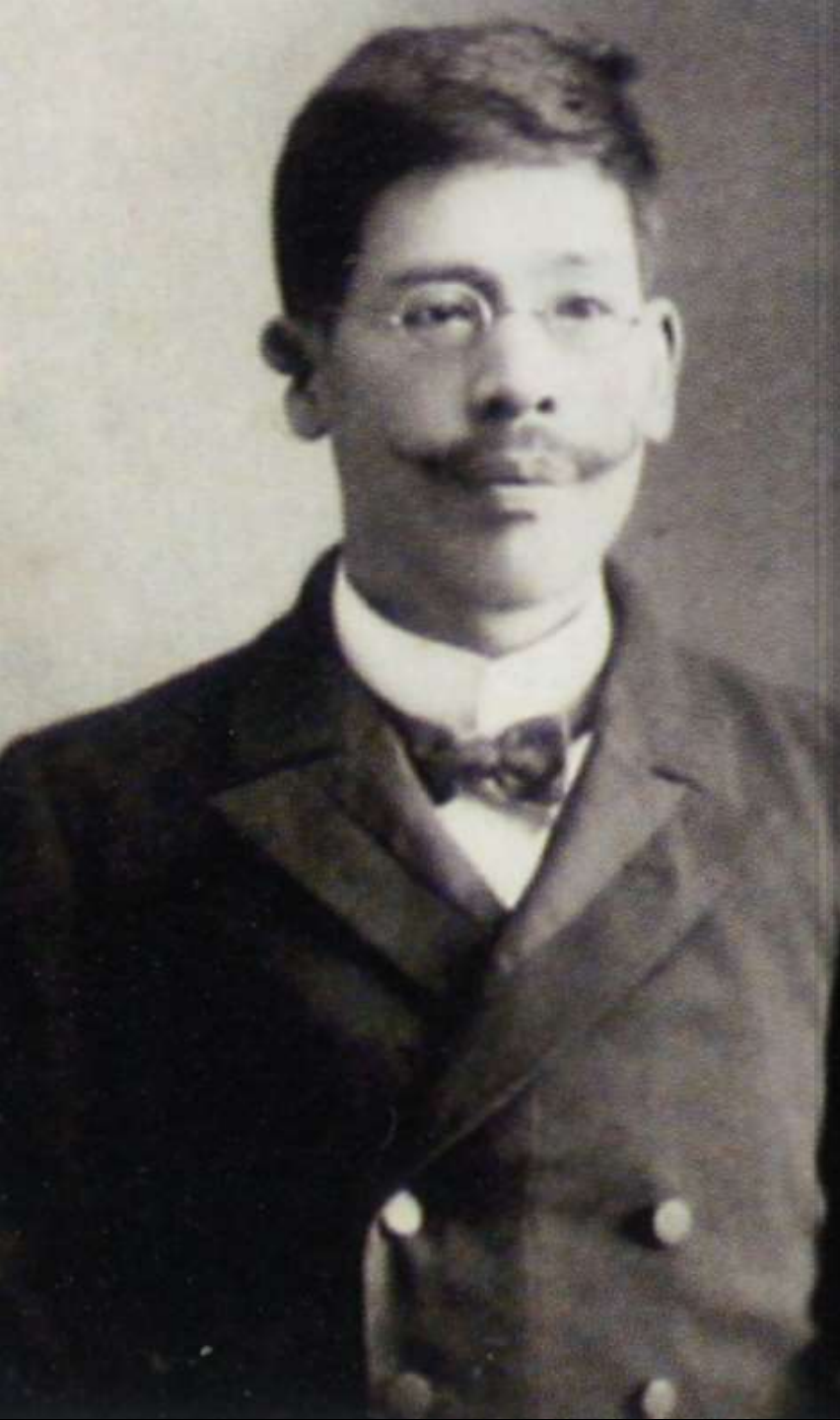


なぜ中国の国語教科書には魯迅の
「藤野先生」が載せられているの
か？





中国は戦後、対日政策の原則を
「一部の軍国主義者と大多数の国
民」とを分ける「二分論」と定めた。
この原則に従い学校教育の場でも、
歴史教育では日本の軍国主義者の非
道さを伝える一方、国語教育では
「藤野先生」を通じて日本の一般国
民の善良さを伝えている。





「藤野先生」は、日本国民の善良さ、
誠実さを伝える作品として、いまも
中国の中学校の語文(国語)教科書に
収録され、この作品を通じて日中友
好の大切さを学んでいる。



参考文献

- ・ジョー・オグネル、ジェニファー・オルドリッチ『トランクの中の日本く米従軍カメラマンの非公式記録』（小学館一九九五年）
- ・本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年、文庫版一九八一年）
- ・時事通信政治部編『ドキュメント 日中復交』（時事通信社一九七二年）
- ・NHK取材班『周恩來の決断』（日本放送出版協会一九九三年）
- ・『日中国交正常化・日中平和友好条約締結交渉』（岩波書店二〇〇三年）
- ・服部龍二『日中国交正常化―田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦』（中公新書二〇一一年）